

別記様式

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 26 年 11 月 16 日（日）午後 2 時				
開催会場	川合公民館				
出席議員	伊藤 壽	伊藤 英生	川合 敏己	小川 富貴	林 則夫
	板津 博之	佐伯 哲也	野呂 和久	伊藤 健二	
	勝野 正規	酒井 正司	山根 一男	亀谷 光	
班長	板津博之				
司会者	佐伯哲也				
報告者	伊藤 英生・小川 富貴				
記録者	質疑：勝野正規／伊藤壽・勝野正規・野呂和久・板津博之				
参加者数	27人				
実施内容	第1部：可児市議会の議会・議員活動についての報告および質疑 第2部：平成25年度決算審査についての報告および質疑 第3部：地域の共助と健康づくりについての意見交換				
主な意見 提言等	<p>第1部・第2部：質疑応答</p> <p>問：いじめ問題に取り組む第三者機関の具体的活動と条例の果たす役割について 答：第三者機関は市が任命した委員。主に学校から、いじめに関する電話連絡があった時、それについての調査を行うようになっている。各学校にはスクールカウンセラーがおみえになり、教職員と連携し、そのいじめに対し、どういった取り組みをしたほうが良いかを第三者機関と協議することとなっている。</p> <p>問：提言1で、職員523人を確保するといっている。この人数は全国で10番目に少ないときいている。（人口における職員数）大規模災害があった場合、本当にこの人数で対応しきれぬのか。またいろんな行政サービスが行われているが、やっていけるのか、議員としてどう考えるのか。 答：可児市の職員条例定数は532人となっている。市として職員目標数値を523名としているのなら、最低限それだけは職員を充足させましようといっている。そうしないと災害時に市民に適切な対応ができないと考えている。</p> <p>問：本当にこの人数が適正と考えているのか、議員としてどう思っているのか。 答：10万人の都市に対し、523名が妥当かどうかということで良いか。 常備消、可児市は広域連合で行っている。南消防署には80数名いるが可児市の職員数に含めていない。土岐市、多治見市とかは、常備消防は市の職員数になっている。また、市民病院も可児市に無いため、その分も考えなければならない。私見になりますが、市職員条例定数532名となっている。行政側は523名の</p>				

職員配置計画と考えているにも関わらず、充足されていないので、市議会としても523名は最低限確保するよう提言している。

個人意見としては532名確保すべきと言いたい。諸事情、人材の確保とかも含め、そこは行政と議会が協力し合って、早く達成できるようにしたい。

問：可児とうのう病院を将来的に市民病院に位置付ける計画はあるのか。

答：現在において、市民病院化は議会としても考えていない。決算でも説明したように、可児市として医療の充実ということで、補助金を出して取り組んでいる。

問：名鉄広見線の存続について、議員の見解を問う。

答：名鉄活性化協議会で協議を行っている。11月の末には協議会が開催されるので、そこで状況を把握する。活性化ニュースにもあるように、利用者の減少傾向は続いている。可児市として3千万円の補助金を支出している。(御嵩町は7千万円)3カ年の状況を見て、補助金を算出している。本年度はその2年目である。延べ年数は5年目となる。可児市ではアンケート調査を行った結果、御嵩線は概ね存続可となっていた。御嵩町は今、アンケート調査を行っている。その結果をみて、検討していく必要がある。11月21日 第14回活性化協議会を午前10時15分から御嵩町中公民館で行うので、是非、傍聴をお願いしたい。

問：川合の舟遊び林議員には尽力頂いた、ここ2・3年は運休中である。将来的にはどうなるかをお聞かせ願いたい。

答：歴史のある川合湊の復元に向けて、整備を行い、舟遊びを始めた。舟は岐阜の市長から無償で頂いたが、運送費等でかなりかかっている。(ウインチで河から陸へあげるだけで8万円かかる)舟頭の確保、舟の老朽化もあるので、完璧に整備し、観光の目玉として再運航をしていきたい。

第3部：意見交換

<健康づくりについて>

健康づくりについて意見交換を行い、下記のような意見がありました。

- ・ご自身の健康づくり、地域でやれる健康づくりについて意見をお願いします。
- ・まだ、若いのであまり気にしていないが、体型がこのようなので(太り気味)、階段を利用することを心がける、規則正しい食事を摂ることを努める。
- ・役所時代も含め、必ず階段を利用する。お風呂で数分の軽い運動を行う、野良仕事などで汗をかくなど、毎日の積み重ねが重要であることを認識している。
- ・公民館講座の健康づくり教室に参加している。犬の散歩も積極的に行い、歩くことを心がけている。
- ・現役引退後は錬成館などで汗をかいたりした、今は復職しその回数は減少した。
- ・気には留めているが、40代のため万全の健康づくりは行っていない。歩くことを積極的に行っている程度です。
- ・市の4つの方針の一つに「高齢者の安気づくり」がある。宅老所・サロンなどのボランティア活動がある。健康づくりでは「歩こう可児302」「ノルディックウォ

ーキング」を推進し、健康づくりのためのきっかけづくりを行っている。

- ・健康であるため、まず、たばこを止めました。また股関節の重要性を聞いたことがあるので、散歩などで歩くことに努めている。健康づくりで、共助が進めば良いことであるとは思いますが、なかなか進まないのが現状のようだ。
- ・Kルート（川合公園を中心としたルートなど）や歩こう可児302運動があるが、作った以上はあとのフォローが大事だ。例えば、「Kルート」の一年間の利用者数や「歩こう可児302」の地域の活動グループ数や人数などを集計する。同時にその効果を公表する事で体を動かす運動の大切さを市民に理解してもらうことが出来るのではないかと。「歩こう可児302」に触発されて、若葉台では週2回（月、金の朝8時から40分ほど）60～80代の方が50人ぐらいのグループで歩いている。また、参加者は会話を楽しみながら歩いている。
- ・毎日ではないが、緑の丘のウォーキングコースをジョギングする。歩いていると太極拳やゲートボール、犬の散歩をしている人を見かける。近くに運動公園などの施設があると健康づくりも積極的にできると思う。
- ・亀山市に在住しているが、最寄りにサンシャインパークという運動公園があり週末は家族連れでにぎわっている。ウォークラリーなどのイベントでは市外からも多数参加されているので、運動に関するイベントを企画することも大切だと思う。
- ・現在66歳になるが、10年間鳩吹山登山を続けている。毎朝5時から2時間かけて登っている。だいたい12,000～15,000歩は歩く。きっかけは健康診断で引っかかってからだか、今は全くの健康体になった。楽しみながら健康づくりが出来ている。
- ・定年退職してからはほとんど何もしていなかったが、最近はパートの時間中に約30分間、かかとだけで小走りをするようにしている。それをするようになって最近ズボンのウエストが緩くなった。
- ・私は昼休みに20～30分歩くようにしている。昼休みに歩くようになってからはなんとなく体が軽くなった感じがする。
- ・日頃ほとんど健康づくりは出来ていないが、たまに近くの山を歩くと山から見える景色がきれいなので、ただ歩くのではなく景色を楽しむことで健康づくりも続けられるようになると思う。
- ・私は5、6年前から万歩計で毎日歩いた歩数をチェックするようにしている。数値化することで歩くことが楽しくなるし、目標を持って歩くことが出来る。そのおかげで最近はほとんどエレベーターを使わなくなった。
- ・老人会（健友会）では、302運動を活発に行っており、役員会の関係で15分程、市役所の周りを歩いたが、定期的に行って頂けたら良い。地区ごとに分れて行ったら予算化できるのではないかと。健友会だけでなく若い人も交じって行ったらどうか。
- ・健友会の場合は、土田、若葉台など地域で取組んでいるところもある。
- ・川合公民館では、公民館活動でウォーキングを行っている。
- ・公民館を起点に4方向、4コースでファミリーウォークを毎年行っている。今渡ダムを渡って戻ってくるコースが500名を超える人気で、目玉があれば参加者も増えるのではないかと。
- ・花フェスタ記念公園の入場料が1,000円で負担であり、市民だけでも無料のパスを

- 出してはどうか。季節の花が見え、交通も安全であり1時間位で1周できる。
- ・バラも思うに任せて見ていない。毎日でない健康増進には繋がらない。
 - ・県営の公園であり直ぐにはできないが、申し入れたい。
 - ・公園の中でなく、周りだけでも歩けるようになると良い。公園に入らずに周囲の山を歩けると良い。
 - ・ウォーキングパスとか、限定的なものがあれば良い。
 - ・園内に糞がある。野犬とかタヌキか何かいるようだ。
 - ・公園まで行くアクセスが無い。簡単に行ける方法があれば行き易い。決まった人しか行けない。
 - ・名城大学が名古屋へ移転する。体育館もあり一般の人に開放して運動する施設にしたらどうか。
 - ・自分で決めて1日5,000歩位歩こうとしている。

意見交換は健康づくりを課題に実施しましたが、高齢化対策、リニア中央新幹線、防災、道路整備、地域活動などについても、参加いただいた方からご意見をいただきました。

平成26年11月28日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 会場 川合公民館 班長 板津 博之 ㊞